

第4学年 国語科学習指導案

令和2年10月13日(火) 6校時

- 1 単元名 目指せ！〇〇の観光大使！！ 都道府県のよさを伝えるリーフレットを書こう！
教材名 「世界にほこる和紙」、「伝統工芸のよさを伝えよう」

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態

アンケートにて実態調査を行い、以下のような回答が得られた。(調査人数 人)

- | | | | | |
|---|---------|-------------|--------------|------------|
| ○国語の学習は好きですか。 | そう思う・・・ | だいたいそう思う・・・ | あまりそう思わない・・・ | そう思わない・・・ |
| ○物語文を学習するのは好きですか。 | そう思う・・・ | だいたいそう思う・・・ | あまりそう思わない・・・ | そう思わない・・・ |
| ○説明文を学習するのは好きですか。 | そう思う・・・ | だいたいそう思う・・・ | あまりそう思わない・・・ | そう思わない・・・ |
| ○書く活動は好きですか。 | そう思う・・・ | だいたいそう思う・・・ | あまりそう思わない・・・ | そう思わない・・・ |
| ○国語の授業中、自分の思いや考えをもっていますか。 | そう思う・・・ | だいたいそう思う・・・ | あまりそう思わない・・・ | そう思わない・・・ |
| ○国語の授業中、自分の思うことを発言できていますか。 | そう思う・・・ | だいたいそう思う・・・ | あまりそう思わない・・・ | そう思わない・・・ |
| ○国語の授業中、友だちの意見を聞くことで、自分の考えが変わったり、深まったりすることがありますか。 | そう思う・・・ | だいたいそう思う・・・ | あまりそう思わない・・・ | そう思わない・・・ |
| ○国語に関する力で、どの力が大切だと思いますか。(複数回答可) | 読む力・・・ | 書く力・・・ | 話す、聞く力・・・ | 言葉等の知識力・・・ |

「国語の学習が好きですか。」の質問に対し、「そう思う・だいたいそう思う」と答えた児童が 人である。このことから、約 割の児童が国語の学習に対して好きだと考えており、約 割近くの児童は好きではないと考えていることがわかった。また、「説明文を学習するのは好きですか。」の質問に対し、「そう思う・だいたいそう思う」と答えた児童が 人であることから、 割以上の児童が説明文の学習が好きだと考えていることがわかった。また、「書く活動は好きですか。」の質問に対して、「そう思う・だいたいそう思う」と答えた児童が 人と一番多かった。その理由としては、「自分の考えを書くのは、楽しい。」や「俳句や折り句を書くのが好き。」などの意見があった。

「国語の授業中、自分の意見や考えをもっていますか。」の質問に対しては、「そう思う・だいたいそう思う」と答えた児童が 人、「あまり思わない・思わない」が 人と、ほとんどの児童が自分の考えをもっていることがわかった。しかし、「国語の授業中、自分の思うことを発言できていますか。」の質問では、「あまり思わない・思わない」と答えた児童が 人もいた。このことから、自分の思いや考えをもつことは比較的できているが、発言・表現することが苦手な児童が多いことがわかる。

「国語の授業中、友達の発表を聞くことにより、自分の考えが深まることがありますか。」の質問に対

しては、「そう思う・だいたいそう思う」と答えた児童が 人もいた。また、「国語に関する力で、どの力が大切だと思いますか。」という質問では、「話す力・聞く力」が 人で一番多かった。

アンケート調査からも本学級の児童は、日記や作文、折り句など文章を書くのが好きな児童が多く、書く活動に対して意欲的に取り組む児童が多い。一方で、文と文との関係性が曖昧であったり、「だれが、いつ、どこで、なにを、なぜ、どのように」といった情報が不十分であったりして、わかりにくい文章が多く見られる。したがって、読み手を意識したわかりやすい文章を書く力を身につけることが必要だと感じている。

(2) 本単元の意図

本単元を指導するに当たっては、小学校学習指導要領（平成29年告示）・第3学年及び第4学年の内容の思考力、判断力、表現力等 B 書くこと（1）「ウ 自分の考えとそれを支える理由と事例との関係を明確にして、書き方を工夫すること。」、C 読むこと（1）「ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。」に重点を置いて指導する。

児童はこれまでに「アップとルーズで伝える」で文章構成や段落どうしの関係（対比）、「要約するとき」で要約の方法、「パンフレットを読もう」で必要な情報を中心に読むことを学習してきた。しかし、文章の中から重要な語や文を見つけ出したり、内容を短い文章で簡潔にまとめたりすることが難しく、習熟が十分ではない。そんな実態から本単元では、児童に身に付けたい力を「中心となる語や文を正確に読む力」と「内容を簡潔にまとめ、わかりやすく書く力」の2つに設定する。

本教材は、「世界にほこる和紙」（読む活動）と「伝統工芸のよさを伝えよう」（書く活動）が合わさった複合単元である。「世界にほこる和紙」では本文を読んで、筆者の説明の仕方を捉えたり、要約したりする活動を行う。「世界にほこる和紙」は、構成が捉えやすく、考えと理由の関係を捉えたり、中心となる語や文を見つけたりする学習に適しているため、書くのが苦手な児童でも要約しやすい教材となっている。「伝統工芸のよさを伝えよう」では、百科事典などを活用して、調べたことをまとめ、リーフレットに書く活動を行う。リーフレットについては、「パンフレットを読もう」の単元で、概要について説明をしているため、イメージがしやすく取り組みやすい。しかし、伝統工芸というのは児童にとって身近にあるものではないため、目的意識をもって意欲的に取り組むことが難しいと考えた。そこで、本単元では新型コロナウイルスの影響で、旅行に行きたくても行けない西小学校の子どもたちのために、観光大使になって都道府県のよさを伝えるリーフレットを作るという活動を設定した。このような活動を設定することで、児童が自分の興味のある都道府県を主体的に選び、明確な目的意識をもって意欲的に取り組めると考えた。

指導にあたっては、第一次「世界にほこる和紙」では、文章の組み立てを捉え、中心となる語や文を確かめて読み、要約することに重点をおく。その学習を生かして第二次「伝統工芸のよさを伝えよう（都道府県のよさを伝えよう）」では、調べたことをもとに、自分の考えをその理由や事例を挙げて、わかりやすく書くことに重点をおく。そして第三次では、書いたリーフレットを友達と読み合い、感想を伝え合う。感想を伝えるときには、自分の書いたものと比べながら、良いところを探すよう指導する。そして、3年生を中心とした様々な学年が興味をもってくれるように工夫を考え、完成したリーフレットを空き教室に展示し、「都道府県のよさを伝えよう」展示会を開く。そして展示会に来てくれた児童に「どの都道府県に行きたくなくなったか」のアンケートに答えてもらい、その結果を集計してランキングを作成する。このことは、児童にも事前に伝えておき、意欲向上の一助とする。

3 研究主題とのかかわり

「自分の思いや考えをもち 豊かに表現できる児童の育成」

～国語科を中心とした児童の言語活動の充実を図るための指導法の工夫・改善～

【研究内容1】

自分の思いや考えをもたせるための工夫

手立て

- 児童にとって、必要感・充実感が得られる単元のめあて・活動を設定する。
- 学習計画を作成し、教室にも拡大掲示をして毎時間めあてを確認しながら進める。

○毎時間のめあてに対して、振り返りを行わせ、学習内容を整理するとともに学習意欲を高める。

【研究内容2】

豊かに表現するための工夫

手立て

- 一人一人が自分の考えをしっかりとるよう、ワークシートを書く時間を十分に確保する。
- 資料を厳選することで、情報を正確に読み取り、整理して書けるようにする。
- 情報の整理がしやすいように、付箋や思考ツールを使用する。

4 単元の目標

- ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 ([知識及び技能] (2)イ)
- ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 ([知識及び技能] (3)オ)
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 ([思考力・判断力・表現力等] B(1)ウ)
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。 ([思考力・判断力・表現力等] C(1)ウ)
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ([学びに向かう力・人間性等])

5 単元で取り上げる言語活動

- ・調べたことをまとめて、事実やそれを基に考えたことを書く活動。(関連：言語活動例ア)

6 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ) ②幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ)	①「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ②「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C(1)ウ)	①進んで、目的や相手を意識して、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫しようとし、学習課題に沿って、調べて分かったことなどを整理して書こうとしている。

7 指導と評価の計画 (全16時間 本時11/16)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○伝統工芸に対するイメージを共有し、地域の伝統工芸について知る。 ○教師作成の「都道府県の良さを伝えるリーフレット」を示す。 ○「観光大使になって、都道府県のよさを伝えるリーフレットを書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ○教師が範読し、意味調べをする。	○伝統工芸に対するイメージ ○単元のゴールの確認 ○学習課題の確認 ○学習計画の立て方 ○意味の理解	○伝える相手を明確にすることで、目的を意識したリーフレット作りになるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>記述・発言</u> ・学習の見通しを立て、意欲的に学習計画を立てたり、意味調べをしたりしているか確認する。
2	○全文を音読し、段落を確かめ、文章全体を「初め」「中」「終わり」に分ける。	○文章の構成 (「初め」「中」「終わり」)	【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>記述・発言</u> ・進んで文を内容のまとまりごとに分けようとしているか確認する。

3	○「中」に注目して、2つの理由を読み取る。	○中心となる語や文の選択	【思考・判断・表現②】 記述・発言 ・書かれている内容に着目して、大きく2つに分け、筆者の考えの理由を読み取れているか確認する。
4	○「中」で挙げられた事例が、何を説明するために挙げられているのか整理する。	○事例の説明	【思考・判断・表現②】 記述・発言 ・それぞれの事例が何の説明のために述べられたものかを整理できているか確認する。
5	○「世界にほこる和紙」を要約する。	○文章の要約の仕方	【思考・判断・表現②】 記述 ・中心となる語や文を考えながら、目的を意識して文章を要約しているか確認する。
6	○要約した文章を読み合う。 ○百科事典の使い方を知る。	○交流の仕方 ○百科事典の使い方	【知識・技能①】 観察・発言 ・要約した文章を相手にわかりやすく伝えることができているか確認する。 ・百科事典の使い方を理解しているか確認する。
7	○調べたい都道府県を決め、調べ方を考える。 ○どんな都道府県のよさの内容を書くのかを決める。	○調べることの決定 ○資料を使つての調べ方	【知識・技能②】 観察・記述 ・今後の見通しをもち、調べたい都道府県を決定し、その都道府県のよさを伝えることができる内容を選択しているか確認する。
8 ・ 9	○取り上げる都道府県について、様々な方法で調べ、メモを書く。	○メモの取り方	【知識・技能②】 観察・記述・発言 ・都道府県のよさについて、本や百科事典などを用いて、必要な知識や情報を得ることに役立っているか確認する。
10 ・ 11 (本時)	○調べたことをまとめ、リーフレット作りに必要な情報を整理する。 ○文章の組み立てを考え、「中」の内容を書く。 ○友達と読み合い、気付いたことを伝え合う。	○情報の整理 ○文章の組み立て ○書き方の工夫 ○推敲の仕方	【思考・判断・表現①】 観察・記述 ・調べた情報を、目的や相手に応じて整理し、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして、書き方を工夫して書いているか確認する。
12	○リーフレットの下書きを書く。 ○写真や絵・図などをどのように使うか考える。	○下書きの書き方 ○写真や絵・図の使い方	【思考・判断・表現①】 観察・記述 ・「中」の内容を基に、書き方を工夫しながら「初め」と「終わり」の下書きを書いているか確認する。
13 ・ 14	○リーフレットを完成させる。	○リーフレットの書き方 ○清書の仕方	【思考・判断・表現①】 記述 ・読む相手や目的を意識してリーフ

			レットが書けているか確認する。
15	○リーフレットを読み合い、感想を交流する。	○交流の仕方 ○読み合うポイントの確認 ・誤字脱字 ・わかりやすさ	【主体的に学習に取り組む態度】 <u>観察・発言</u> ・友達のリーフレットを読み、積極的に感想を交流しようとしているか確認する。
16	○展示会を開く準備をする。	○ポスターやポップの書き方	【主体的に学習に取り組む態度】 <u>観察・記述</u> ・既習のポップの書き方を生かして、進んで展示会の準備をしようとしているか確認する。
事後	○空き教室を使って、「都道府県のよさを伝えよう」展示会を開く。 ○どこの都道府県に行きたくなったかアンケートを書いてもらう。	○展示会の運営	○アンケートをとって、「どの都道府県に行きたくなったか」をランキングにすることを事前に知らせておくことで、児童の意欲向上につなげる。

8 本時の学習指導（本時11／16時間）

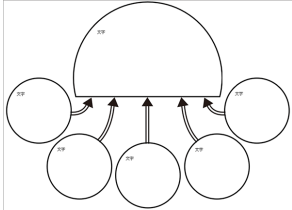
(1) 目標

自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)ウ

(2) 評価規準

「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 【思考・判断・表現】

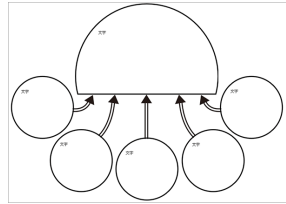
(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時までの学習内容を想起させ、本時の学習内容・めあてを確認する。	○単元のゴールの確認 ○単元の学習計画表を基にして、前時及び本時の学習内容の確認 ・情報の整理の仕方 ・都道府県のよさの書き方 ○本時のめあての確認	○前時のワークシートを見返して、学習活動を確認する。 ○「多くの友達が行ってみたいと思えるリーフレットを書く」ために、本時が重要な位置付けであることをおさえる。	3
調べたことを整理して、〇〇県のよさを伝える文章を書こう。			
2 調べた情報を、「多くの友達が行ってみたいと思えるリーフレットを書く」という目的に応じて整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">クラゲチャート</div> 	○情報の整理 ・付箋を使った情報整理（優先順位の決定） ・思考ツールを使った情報整理（理由付け）	○「多くの友達が行ってみたいと思えるリーフレットを書く」という目的を念頭に置いて、情報を整理する。 ○調べた情報をすべてリーフレットに書くことはできないため、付箋を動かしながら優先順位をつけ、視覚的にわかりやすくする。 ○今回は、思考ツールをクラゲチャートに限定することで、混乱せず、活用できるようにする。	6

<p>3 整理した情報を基に、都道府県のよさを書く。</p>	<p>評価場面 1 【思考・判断・表現①】 〈評価方法〉 ワークシートの記述・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べた情報を付箋や思考チャートを活用し、視覚的・構造的にわかりやすく整理している児童を B とする。 〈「努力を要する」状況 (C) への手立て〉 思考ツールの種類と使い方をいつでも確認できるように、拡大掲示する。 作業が進まない児童には、何を一番伝えたいのかに重点を置き、優先順位をつけるよう指導する。 	<p>○書き方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの記述 つなぎ言葉 (理由や事例) の使い方 <p>○伝えたいことに説得力を持たせるために理由や事例を挙げ、伝えたいこととの関係をはっきりさせる。</p> <p>○使いたい表現シートを活用し、つなぎ言葉を効果的に使えるよう指導する。</p> <p>理由…だから、そのため、なぜなら 事例…例えば、つまり</p>	<p>18</p>
<p>4 都道府県のよさを全体で発表する。</p>	<p>評価場面 2 【思考・判断・表現①】 〈評価方法〉 ワークシートの記述・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして、書き方を工夫して書いている児童を B とする。 〈「努力を要する」状況 (C) への手立て〉 書き方の例文を提示する。 使いたい表現をまとめた「使いたい表現シート」を作成し、配布する。 大きめの付箋を使用し、情報がある程度まとまった文章にしておく。 	<p>○目的を意識した、書き方の工夫</p> <p>○より分かりやすくするための視点の理解</p>	<p>8</p>
<p>5 より分かりやすい文章になるように自分の書いた文章を推敲する。</p>	<p>○わかりやすくなるための推敲の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ふりがな 難しい言葉の意味 自分の考え 	<p>○代表発表者の書いた文章をホワイトボードに投影し、それを見ながら発表を聞かせる。</p> <p>○発表が終わったら、発表に対しての感想を言わせることで、より分かりやすくするための視点を明確にする。</p> <p>○発表で全体共有した、より分かりやすくなるための視点をもとに、自分の書いた文章を赤で手直しさせる。</p>	<p>5</p>
<p>6 本時の振り返りをする。</p>	<p>○今日の学習の評価</p>	<p>○本時のめあてに沿った振り返りを</p>	<p>5</p>

<p>【期待する児童の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を工夫して整理することで、文章をわかりやすく書くことができました。また、〇〇に気を付けたら、よさをわかりやすく伝えられる文章が書けました。 ・友達と読み合うことで、自分の思いつかなかった書き方を知ることができました。今日書いたことをもとに「初め」や「終わり」も書いていきたいです。 	<p>○次時の学習内容の確認</p>	<p>するよう助言するとともに、具体的に何がどのようにわかったのかや、次の学習にどう生かしていきたいかなどについて書くよう指導する。</p> <p>○振り返りの書き方のポイントを黒板に掲示し、めあてに沿った振り返りができるようにする。</p>	
---	--------------------	---	--

9 板書計画

<p>○より分かりやすく書くためのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しい漢字にはふりがなをふる。 ・わかりにくい言葉は説明を書く。 ・自分がどう思ったかが書いてある。 <p>振り返りの視点</p>	<p>付箋の使い方 思考ツールの使い方</p>  <p>例文</p>	<p>○情報の整理</p> <p>○都道府県のよさを書く</p>	<p>めあて</p> <p>調べたことを整理して、〇〇県のよさを伝える文章を書こう。</p>	<p>都道府県のよさを伝えよう</p> <p>目指せ！〇〇の観光大使！！</p> <p>都道府県のよさを伝える</p> <p>リーフレットを書こう！</p>
--	--	----------------------------------	--	--